

# 【事例発表資料】多面的機能支払交付金の取組状況

## 1. 組織の概要及び取組事例

活動組織名	内ノ浦地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会		市町村名	大崎市				
取組開始年度	19 年度～	構成員	農業者	213 名				
			非農業者	0 名				
			団体	6 団体 (主な団体) JA、PTA、行政区、水土里ネット				
認定農用地面積	田	208.2 ha	畑	0 ha	草地	0 ha	計	208.2 ha
平成 26 年度 交付額	農地維持支払交付金			6,247 千円				
	資源向上支払 (共同活動)			3,748 千円				
	資源向上支払 (施設の長寿命化)			792 千円				
① 地域の概要	<p>大崎市(旧鹿島台町)の南玄関に位置し一級河川吉田川と国道346号線添いの低平な水田地帯である。</p> <p>1. 県営ほ場整備事業(昭和57年着工～平成7年完了)</p> <p>2. 県営基盤整備事業内ノ浦区(平成10年完工～平成16年完了)で整備された地域である。</p>							
② 取組概要	<p>農地維持支払交付金(直営工事をする事で諸経費の削減を図る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丘陵台地からの排水路除草作業は区域を分担しトラクターモア4台で除草。</li> <li>人力による除草においては主に3組織体(鎌巻、平渡、内ノ浦)で行っている。</li> <li>ゲート等塗装及びスピンドルへのグリスアップ(冬期間のゲート養生)</li> </ul> <p>資源向上支払交付金(共同活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチフリューム用水路の目地詰め作業(転作田:麦、大豆、青ネギへの漏水対策)</li> <li>用水路溝畔の補修</li> <li>農道補修(農道の中央部を剥ぎとり集積し次年度再利用)</li> <li>小学生の子供と父母共同参加のクリーン作戦と生き物調査</li> <li>植栽活動</li> </ul>							
③ 取組の効果	<p>○農家組合員の賦課金が軽減された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来までは、排水路の除草作業は、組合員の賦課金によって、まかなわれていた。(平成19年時点:10a当たり1,761円)</li> <li>簡易的な水路や農道補修を多面的機能支払交付金を活用し地域の維持管理費を軽減。(平成19年時点:10a当たり675円)</li> </ul> <p>○過去に生き物調査を体験した子が中学校へ進級した現在でも自然環境や生物に興味を持ち生き物とふれあいをもっている。</p> <p>○地域コミュニケーションの場として一服しながらこのひとときを大事に次に繋げたい。</p>							
④ 課題	<p>1. 除草作業の範囲が広いため、人力作業を軽減しトラクターモア(ハンマーナイフモア)を有効活用し効率化を図りたい。</p> <p>2. 農道補修においては、年2回の砂利補充を行っているもすぐに傷んでしまうことから、農道に転圧をかけアスファルト合材で農道の補強を図りたい。</p>							



④ 課題	<p>3. 二線堤バイパスが一部開通となりましたが、未だ土羽のまま手つかずの箇所もあり国に対して整地や環境整備を要望している。</p> <p>4. 生物に配慮し(沼エビやうなぎ等の数が減少していることから)年次計画をたて竹柵工での法面保護を実施しましたが、年数が経過するごとに劣化することから継続した管理が必要となっている。</p> <p>5. 排水路に菱が大量に繁茂し対応に苦難している。</p> <p>6. 都市計画地内を通過する開排水路の水路管理が行き届かない。</p> <p>7. 用水ポンプの点検整備を行いたい(内ノ浦揚水機場:水中ポンプφ300mm 2台) (川頭用水機場:水中ポンプφ200mm 1台) (中央機場:水中ポンプφ150mm 1台) (品井沼第2機場:水中ポンプφ250mm 2台)</p> <p>8. 排水機場の費用負担について</p> <p>※資源向上支払(施設の長寿命化)を継続して取組、農村環境の向上に努めたい。</p>
⑤ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>生き物調査を体験した小学生の感想作文や絵を募集し、優秀作品においては夏祭り会場で紹介国道や生活センター内に掲示し啓発普及の一環としている。</li> <li>活動に参加できない人のために年に一回、意向調査(簡易的な用排水路の補修要望等)を行い活動計画に反映している。</li> <li>活動中の事故対策(トラクター等の接触事故やのぼり旗の事故)について</li> </ul> <p>◎体制整備構想(23年度)を検証しながら次につなげること。</p>

## 2. 取組の写真

① 生き物調査		② 小学生クリーン作戦	
③ 啓発普及の看板設置(生き物調査を体験した小学生による絵)			